

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	千代川保育園	施設種別	保育所 (旧体系 :)
評価機関名	京都府保育協会		

(平成 21 年 3 月 3 日)

<p>総 評</p>	<p>千代川保育園は、亀岡市の西北部に位置し、保育園の周辺を田園と小学校に囲まれた、落ち着いた環境にある保育園です。</p> <p>園の目指す児童の姿は、仏教の五戒を基に考えられており、子どもたちが人や自然に優しく、こころが豊かになるようにとの思いで保育を実施しています。管理者のきめ細やかなリーダーシップのもと、職員は密に連携を図っており、子どもの状況の把握や、書類関係の記録・管理も行き届いています。</p> <p>地域の子育て家庭の支援事業として、親子サロンや園庭開放、出前保育などの実施や駅前分園（並河駅前）では午後 10 時までの延長保育や休日に働く保護者のための休日保育を行なっています。又、保育園と家庭との繋がりを大切に考え、年 2 回の個別懇談や通常の保育参観以外にいつでも参観出来る年 2 回の「自由参観」や日曜参観も実施し、子どもの育ちを観る機会や保育士と関わりあう機会を数多く設けています。</p>
<p>特に良かった点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の職員ミーティングを実施し、伝達事項やけが・病気の子どもの様子を全職員が共有出来るよう取り組んでいます。ミーティング記録を閲覧することで、遅番の職員にも申し送り事項が伝わるようにしています。 ・ 書類関係の記録・管理が行き届いています。行政からの連絡や法令などもしっかりとファイルにまとめ、全職員が最新の情報を把握出来るよう努めています。 ・ 地域の子育て家庭に対する支援事業が充実しています。毎月の親子サロンや園庭開放、育児相談に加え、定期的に近隣の公園まで保育士が出向き、紙芝居や手遊び、同時に育児相談も受け付ける出前保育も行っています。又、希望に応じて、休日保育・ゴールデンウィーク・年末年始も保育を行なっています。
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この第三者評価受診をきっかけとして、保育計画の見直しなどを含め、園全体の保育の計画を充実すると、なお良いでしょう。 ・ 職員の個別の研修に対する十分な評価・見直しまでは実施されていませんでした。今後は、研修成果の評価が、次の研修計画に反映されるよう継続的な取り組みをされると、なお良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	千代川保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成21年3月3日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	B	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

【自由記述欄】

- 理念、基本方針は確立しており、園内の掲示や園のしおり、パンフレット、園独自のホームページに掲載し、啓蒙に努めています。又、職員には業務マニュアルや園独自の「保育士の心得」を配布し、周知しています。毎週月曜日の朝礼では、保育目標を職員間で確認し合っています。
- 事業計画を策定しています。計画内容は、園のしおりやホームページにその内容を反映した事業内容を掲載し、職員だけでなく保護者にも周知に努めています。計画の策定は、職員面談や会議での意見を参考にしながら、最終的には管理者が行っています。
- 管理者は、毎週月曜日の朝礼・毎日のミーティング・月1回の全体職員研修で、保育内容や保育の課題について話し合い、保育が実践できるよう取り組んでいます。又、地域の子育て支援センター事業として親子サロンや、分園での休日保育、午後10時までの延長保育の実施など、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。
- 関連法令などは、全職員に回覧し周知しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

■毎月の財務表を作成し、運営状態の把握に努めています。又、会計士等と定期的に話し合い、事業経営や社会福祉事業を取り巻く環境の把握に努めています。

■必要な人材に関する基本的な考え方を文書化しています。人事考課は、自己評価と管理者による加点方式(総合福祉研究会の人事考課表に基づく)で実施しています。

■職員の就業状況や福利厚生に関して、園長と職員の面談を設け、職員の意向を把握するように努め、次年度の体制に反映するようにしています。有給休暇の消化率は毎月、管理者が確認し、各職員が消化できるよう配慮しています。

■職員は研修計画に基づき各種研修に参加しています。毎月1回の全体職員研修では、職員による研修報告を行っています。また外部講師を招へいして園内研修を実施するなど、全職員が共通の理解を持って保育が出来るように努めています。ただ、個別の研修に対する十分な評価・見直しまでは実施出来ていません。今後は、研修成果の評価が、次の研修計画に反映されるよう継続的な取り組みをされると、なお良いでしょう。

■実習生の受け入れマニュアルを作成し、実習指導の担当者を決め、毎年実習生を受け入れています。

■事故発生時のマニュアルや感染症対応マニュアルを作成し、職員に周知しています。門扉や駐車場への防犯カメラの設置や各保育室からの全館放送が可能な設備、防犯ベルの携帯など、安全面に配慮しています。保育中のケガや病気なども、毎日のミーティングで伝達し、職員間での情報共有に努めています。

■地域子育て支援センター事業としての事業活動のほか、近隣の公園へ出前保育と称し、紙芝居や手遊びを行ったり、同時に育児相談も受け付けています。ボランティアの受け入れは、地域の小・中・高校生を対象にした職場体験の受け入れや、囲碁教室や英会話の講師などのボランティアを平成20年度も延べ165名を受け入れています。

■亀岡市保健センターより保健師が定期的に来園し、子どもの成長についてのアンケートの実施などを含め連携を取っています。主任児童委員とも定期的話し合い、それらの内容を踏まえ地域の福祉ニーズの把握に努めています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

【自由記述欄】

■園の方針に沿った保育が実施出来るよう、朝礼や毎日のミーティング、月1回の全体職員研修で情報の共有化と共通の理解を持てるよう努めています。保護者に対しては、年1回のクラス懇談会と年2回の個別懇談を実施しています。保育参観、日曜参観、祖父母参観の他に、「自由参観」を年2回実施しています。保護者アンケートも毎年実施し、保護者の意向の把握に努めています。

■苦情処理委員会を設置し、苦情解決の仕組みを整備しています。又、苦情解決の仕組みを園独自のホームページや園のしおりで、知らせています。苦情の内容や解決過程・方法については、申し出た保護者に配慮したうえで公表しています。

■園内にサービス評価委員会を設置し、職員による園の自己評価を実施しています。それによって明確になった課題に対し適宜、改善を図っています。今後は、この第三者評価受診をきっかけとして、保育計画の改善・見直しなどを含め、園全体の保育の計画を充実するとおおいでしよう。

■個々の保育についての標準的な実施方法は、業務マニュアルを作成し、周知しています。内容の見直しは、職員間の気づきがあれば、その都度会議にて検討します。

■保育の記録(個人記録・健康診断・保育日誌など)は、決められた書式により適切に記録・管理しています。毎日のミーティングでは、子どもの様子や連絡事項などの情報を共有化しています。保護者に対しては、毎月「おしらせひょう」に園児一人ひとりの成長の記録と概評を記入し、伝えています。

■利用希望者に対して、ホームページやリーフレットによる案内や見学希望を随時受け入れています。入園時には、入園説明会にて、園の方針や生活面での決まりごとを説明し、保護者の理解を得るようにしています。転園などの申し送りに関しては、「おしらせひょう」に毎月の子どもの記録を記入しており、それを保護者に渡しています。保護者の判断で、それを転園先に提出しています。

■子ども一人ひとりの発達状況は、成長記録や児童表により記録するとともに、ミーティングでも確認しています。個別対応を要する園児については、個別記録をもとに保健師などと相談しながら対応しています。保育計画、年間指導計画は策定しており、指導計画については、毎月の職員研修で評価・見直しを実施し、次の計画策定に反映するよう努めています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	千代川保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成21年3月3日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

- 保育計画は、園の方針に基づき作成しています。保育計画に基いて年間指導計画を作成し、毎月、その指導計画の評価・反省を実施して翌月から保育に反映出来るようにしています。
- 保護者からの既往症や予防接種の履歴などの伝達内容は児童表に正確に記録し、確認を徹底しています。3歳未満児については、登園時に検温を実施し、日々の体調に対し留意しています。毎日のミーティングでは、子どもの体調などの申し送り事項を職員間で共有し、その内容はミーティング記録で延長保育の職員も把握するようにしています。
- 健康診断・歯科健診の診断結果は保護者に連絡しています。その内容で保育に影響のあるものは、職員会議で話し合い対応内容を周知徹底しています。
- 園児が育てた大根・じゃがいも・さつまいもなどを収穫して、大きなお鍋を囲んで大根焼きなどを行っています。七草粥・月見だんご・小豆粥など季節の食事は、その食材に対する意味を子どもたちに説明し食べるようにしており、食事や食材に興味を持てるよう工夫をしています。配膳や後片付けも、当番を作り全員が参加出来るよう取り組んでいます。
- 毎月、献立会議を開き、子どもたちの日々の喫食状況をもとに話し合い、献立や調理方法を考えています。又、毎月クラスだよりの中にレシピや食育について掲載しており、保護者に紹介し、年長児は昼食会を開き、子どもと一緒に給食を食べる機会を設けています。
- アレルギー疾患を持つ子どもに対して、医師の指示のもと除去食の提供を実施しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

- 各保育室は清潔に保たれています。園内には、プランターに植えられた色とりどりの花がたくさん並んでおり、子どもたちが心身ともに安らげる環境になるよう努めています。各保育室には、空気清浄器とジェットタオルを設置しています。
- 各保育室に、子どもの興味に応じた玩具を用意しています。保育士は挨拶や言葉がけなど、子どもたちに元気良く語りかけ、子どもたちも楽しそうな雰囲気の中で生活しています。
- 園周辺の環境は自然に囲まれており、子どもたちが身近な自然に触れられるよう散歩や毎月1回のマイクロバスによる園外保育などを取り入れています。
- 専門講師による絵画・リトミック・体操・ハンドベル指導・陶芸指導・囲碁教室などを取り入れています。又、心と体のバランスを整え集中力が養えるようにと、座禅を保育に取り入れています。
- 地域の方や保護者が参加する人権研修を年に3回開催し、人権に対する理解を深められるよう取り組んでいます。
- 乳児に対する保育環境を整備しています。0歳児は、SIDS予防のため午睡中はこまめにチェックをしています。
- 長時間にわたる保育に対しては、家庭と同じような雰囲気を作り出すよう配慮しています。また、囲碁教室など子どもたちが楽しく過ごすことが出来るよう取り組んでいます。
- 障害児保育に対し、定期的に保健師が来園し、家庭・園・専門機関との連携を綿密に行っています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			非該当	非該当
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当

【自由記述欄】

- 全園児に連絡帳があり、日々の連絡事項を保護者と園が伝えあうようにしています。又、全園児対象に年2回の個別懇談を実施しています。
- 虐待に関するマニュアルを整備しています。子どもの毎朝の視診などで気になる事があればすぐに園長に連絡し、関係機関との連携がスムーズに実施出来る体制を整備しています。
- 一時保育を実施しています。慣らし保育を経て、個々の状況に応じて、同年齢の集団の中で遊べるように配慮しています。駅前分園では、日・祝日・年末など休日に家庭で保育の出来ない保護者のための休日保育を実施しています。
- 調理場・水周りなどの衛生管理マニュアルを整備しており、清潔に保たれています。保健所の指導も含め、マニュアルは定期的に見直しを実施しています。